

# 三重県における取組状況について

## 1 三重県における県立夜間中学設置に向けた検討状況

・「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」（「教育機会確保法」）の成立後、三重県における夜間中学等の就学機会確保の在り方について、検討を進めてきました。具体的には、令和元年度・令和2年度に県内ニーズ調査の実施、令和2年度に有識者を交えた「夜間中学等の就学機会確保の在り方に関する検討委員会」の開催、令和3年度からみえ夜間学級体験教室「まなみえ」の開催、令和4年度に夜間中学入学希望調査の実施、「三重県における公立夜間中学設置等に係るワーキングチーム」の開催に取り組みました。

### 【国勢調査】（令和元・2年度）

- ・県内の未就学者 1, 845人（15歳以上人口比0.12%）
- ・最終学歴が小学校 14, 805人（15歳以上人口比1.0%）

### 【県内ニーズ調査】（令和2年度）

- ・「夜間中学での義務教育」の学び直しを希望 53件  
内訳：12市町（桑名市、いなべ市、四日市市、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、伊勢市、伊賀市、名張市、菰野町、御浜町）
- ・「一部の分野・教科」の学び直しを希望 32件

### 【夜間中学入学希望調査】（令和4年度）

- ・入学希望者 108名  
内訳：9市町（四日市市（49名）、鈴鹿市（17名）、津市（16名）、桑名市、亀山市、松阪市、伊勢市、伊賀市、菰野町）

### 【夜間中学体験教室「まなみえ」】（令和3年度～5年度）

- ・累計申込者数 37名

・夜間中学への入学を希望する生徒が広域的に存在し、かつ、特定の人数の偏りが見られないこと、県内全域からの入学者の受入れを円滑に行うことができること、市町が単独で設置運営することが難しいことなどから、令和4年10月、県立夜間中学を設置する方針を表明しました。

## 2 設置場所について

設置場所	住所
三重県立みえ夢学園高等学校（研修棟）	津市柳山津興1239

- ・県立みえ夢学園高等学校は、定時制課程・総合学科。夜間部に152名在籍（R5.5現在）
- ・津駅（近鉄・JR）からバス14分と徒歩1分、阿漕駅（JR）から徒歩13分。
- ・研修棟は、定時制夜間部生徒が使用する教室棟から独立している。食堂あり。

### 3 みえ夜間学級体験教室「まなみえ」

#### (1) 経緯

令和元年度・令和2年度のニーズ調査において、学び直しに対するニーズが一定程度認められたことから、対象者等の夜間中学への理解を深めることと、詳細なニーズを把握することを目的として、一定期間の実証的検証を行うこととしました。

#### (2) 開催期間・内容

##### ○令和3年度（全20回）

期間：10月5日（火）から12月14日（火）（毎週火・木）全20回

18時から20時まで（45分授業×2限）

内容：中学校1年生の国語と数学が中心（小学校の復習も随時行う）

##### ○令和4年度（全50回+校外学習1回）

期間：1学期：4月25日（月）から7月7日（木）（毎週月・火・木）全30回

2学期：9月上旬～10月中旬（毎週月・火・木）全20回

18時～20時30分頃まで（40分授業×3限）

内容：中学校1年生の国、社、数、理、英と実技教科が中心（小学校の復習も随時行う）

##### ○令和5年度（全48回+校外学習2回）

期間：前期：5月12日（金）から10月13日（金）（毎週金・隔週水）全24回

後期：10月18日（水）から2月21日（水）（毎週金・隔週水）全24回

18時～20時30分頃まで（45分授業×3限）

内容：中学校1年生の国、社、数、理、英と実技教科が中心（小学校の復習も随時行う）

教科により、講座をⅠ（新規で学習する方対象）とⅡ（継続して学習する方対象）に分けて実施

#### (3) 会場

津会場：三重県総合教育センター

四日市会場：三重県立北星高等学校

#### (4) 受講状況（令和5年7月14日現在）

##### ア 申込状況

(人)

	申込者数	年代	外国にルーツあり	オンライン
R3	14	10～50代	7	0
R4	21	10～50代	11	1
R5	16	10～40代	8	3

イ 居住地別

(人)

市町別		R3	(外国にルーツ) (オンライン)	R4	(外国にルーツ) (オンライン)	R5	(外国にルーツ) (オンライン)
四日市会場	1 いなべ市	1	(1) (0)				
	2 四日市市	4	(3) (0)	5	(3) (0)	4	(3) (1)
	3 鈴鹿市			3	(3) (0)	2	(2) (0)
	4 菟野町	2	(0) (0)	2	(0) (0)	1	(0) (0)
	5 県外			1	(1) (0)	1	(1) (0)
	計	7	(4) (0)	11	(7) (0)	8	(6) (1)
津会場	1 津市	3	(1) (0)	7	(3) (0)	4	(0) (1)
	2 松阪市	1	(0) (0)	2	(1) (0)	3	(2) (0)
	3 亀山市	2	(1) (0)	1	(0) (1)	1	(0) (1)
	4 名張市	1	(1) (0)				
	計	7	(3) (0)	10	(4) (1)	8	(2) (2)
合計		14	(7) (0)	21	(11) (1)	16	(8) (3)

ウ 年代別 (R5)

(人)

	四日市	津	計
10代	2	4	6
20代	4	3	7
30代	2	0	2
40代	0	1	1
合計	8	8	16

エ 通学方法別（R5）

（人）

	四日市	津	計
公共交通機関	5	2	7
自家用車	2	4	6
オンライン	1	2	3
計	8	8	16

(5) 令和5年度申込者に対するアンケートより（R5. 7月実施）【回答13人】

○参加理由（自由記述）

- ・学び直しをしたい 5人  
（家庭の事情や不登校により、十分に学ぶことができなかった。  
進学したが、勉強がわからない等）
- ・学校というものがどんなものか知りたかった 1人
- ・学びたい 2人
- ・高校に進学したい 3人
- ・人とコミュニケーションをとりたい 2人
- ・日本語と日本の歴史や文化について学びたい 3人

○満足度

- ・満足 12人
- ・まあまあ満足 1人
- ・あまり満足していない 0人
- ・満足していない 0人

○感想（自由記述）

- ・親身に同じ目線で話してくれる方ばかりで、最初の日にここで学びたいと思いました。感謝しかないです。
- ・もう一度、勉強を教わる機会を与えてもらえて嬉しいです。
- ・深い学びが得られている。勉強そのものよりも、さまざまな国からきた仲間との交流で学ぶことのほうが多いです。言葉が通じないからこそ、わかり合えることもあると教えてもらっています。
- ・授業はわかりやすく、先生は親切に教えてくれます。でもときどき聞きづらいです。
- ・校外学習や交流の機会が増えてきた。体育の授業やスポーツ大会もしたい。
- ・今は、学校へ楽しく通っています。まなみえのおかげです。ありがとうございます。
- ・わからないときは、ゆっくり教えてほしいです。

### ★R5 体験教室「まなみえ」の特徴★

- 参加者の約8割が10～20歳代である。
- 参加者の約半数が外国にルーツがある。
- 参加者の約2割が通信制の高校へ在籍しながら参加している。
- 参加者の約2割がオンラインで参加している。  
(理由：子育て。直接コミュニケーションをとるのが苦手。)
- 参加者の学びへの意欲が高く、満足度も高い。

### ★体験教室「まなみえ」からみえてきたこと★

- 継続して実施してきたことで、どのようなニーズがあるかを把握できた。
- 個々の生徒の状況や多様なニーズにどのように対応していくか、どのようにコース設定をするか、質の高い学びをどのように保障していくかを考えていく必要がある。
  - ・今年度より、2講座制にしたが、日本語指導が必要であったり、特別な支援が必要であったり、習熟度の差がある。
  - ・途中参加されなくなった理由として、もっと速いスピードで学びたいという方がいる。
  - ・個で学びたいという方、集団で学びたいという方がいる。
  - ・中心的に学びたい教科がある方がいる。
  - ・仕事や学校の都合で、毎日通うことができない方がいる。
  - ・オンラインであれば参加できる方がいる。
- 参加者の卒室後の見通しについて、相談体制等どのような支援ができるのか考える必要がある。
- 連絡、相談体制を整えるなど、保護者の関係構築を図る必要がある。
- 自宅から会場までの距離によって、通うための交通費等の金銭面の負担が大きく、支援の在り方について考える必要がある。
- 広報活動を充実させ、夜間中学や体験教室への理解と、必要としている方への周知を図る必要がある。
- 現在参加されている方の学びの継続をどう確保するかについて考える必要がある。(特に四日市会場の参加者やオンラインによる参加者)。